



Simply Better Connections

CS62KM

2ポートUSBケーブルKMスイッチ (マルチスクリーンコントロール対応) ユーザーマニュアル

本書 日本語マニュアルについて

この日本語マニュアルは、ATEN International Co., Ltd. が作成した英語版ユーザーマニュアルをもとに、ATEN ジャパン株式会社が機械翻訳をベースに作成したドキュメントです。

日本国内のお客様への便宜を図る目的で公開していますが、用語や表現は機械翻訳による、表記ゆれなどがございます。

本マニュアルには、グローバル共通となる英語版を翻訳したため、日本国内で取り扱いのない製品情報が含まれる場合があります。

製品の取扱いや仕様などは日本国内の法規に抵触する内容を除き、基本的に英語版ユーザーマニュアルが準拠となります。正確性を要する場合は、本マニュアルは英語版を読む際の補助テキストとしてご利用ください。

なお、内容に不備や誤りなどがございましたら、お手数ですが ATEN ジャパン株式会社までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

適合性に関する宣言

連邦通信委員会(FEDERAL COMMUNICATIONS COMMISSION INTERFERENCE STATEMENT)

この機器は、FCC規則のパート15に準拠したクラスB デジタルサービスの制限に準拠していることが、テストによって確認されています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉から適切に保護するために設計されています。この機器に変更・改造を加えると、この機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。この機器は、高周波エネルギーを生成・使用・放射する可能性があります。指示に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉が発生するおそれがあります。ただし、特定の設置環境において干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（機器の電源再起動で判断可能）、次の1つ以上の手段で干渉を修正してください。

- ◆ 受信アンテナの向き、または位置を変える。
- ◆ 製品本体と受信アンテナの距離を離す。
- ◆ 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに、機器を接続する。
- ◆ 販売店またはラジオ・テレビ技術者に問い合わせる。

この機器は、FCC規則のパート15に準拠しています。動作は次の2つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

FCCによる注意: 本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。



RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称RoHS指令に準拠しております。

製品名	2ポートUSBケーブルKMスイッチ (マルチスクリーンコントロール対応)				型番	CS62KM
構成部品	使用制限物質およびその化学記号					
	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁺⁶)	ポリ臭化 ビフェニル (PBB)	ポリ臭素化 ジフェニルエーテル (PBDE)
ケーブル	-	○	○	○	○	○
プリント基板部品 PCBA	-	○	○	○	○	○
プラスチック・ その他部品	○	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○

備考 1:「0.1wt%超」および「0.01wt%超」とは、制限物質の含有率が含有率基準値を超えていることを意味します。

備考2:「○」は、制限物質の含有率が基準値の存在率を超えていないことを示します。

備考3:「-」は、制限物質が免除に対応していることを示します。

製造元: ATEN International Co., Ltd.

所在地: 台湾新北市汐止區大同路二段 125號三樓

最高使用環境温度: 40℃

最大定格電圧: DC 5V



ユーザー情報

オンライン登録

製品がお手元に届きましたら、オンラインサポートセンターへの登録をお願いします。

インターナショナル	http://eservice.aten.com
-----------	---

電話によるサポート

電話でのお問い合わせは、以下の窓口までご連絡ください。

インターナショナル	886-2-8692-6959
中国	86-400-810-0-810
日本	81-3-5615-5811
韓国	82-2-467-6789
北米	1-888-999-ATEN ext 4988
	1-949-428-1111

ユーザーの皆様へ

製造元は、このマニュアルに記載されているすべての情報・ドキュメント・仕様を、事前の通知なしに変更する場合があります。製造元は、本契約の内容に関して、明示的または黙示的に表明または保証を行わず、特定の目的のための商業性または適合性に関するいかなる保証も特に放棄します。このマニュアルに記載されている製造元のソフトウェアは、そのまま販売またはライセンスを受けています。購入後にプログラムに欠陥があることが判明した場合、購入者(メーカー、代理店、または販売店を除く)が、必要なすべてのサービス、修理、およびソフトウェアの欠陥に起因する付随的または派生的損害の全費用を負担します。

このシステムの製造元は、この装置に対して許可されていない変更に起因する無線やテレビへの干渉には責任を負いません。このような干渉の訂正は、ユーザーの責任です。

動作前に正しい電圧設定を選択していない場合、製造元はこのシステムの動作において被るいかなる損害に対しても責任を負いません。使用前に電圧設定が正しいか確認してください。

製品情報

すべてのATEN製品および対応周辺機器については、弊社ウェブサイトアクセスするか、またはATEN販売代理店にお問い合わせください。所在地と電話番号の一覧については、弊社ウェブサイトアクセスして、ご確認ください。

インターナショナル	http://www.aten.com
北米	http://www.aten-usa.com

同梱品

すべてのアイテムが正常に動作しているか確認してください。問題が発生した場合は、購入元にお問い合わせください。

- ◆ CS62KM 本体 × 1
- ◆ 有線リモコン × 1
- ◆ クイックスタートガイド × 1

目次

適合性に関する宣言	i
ユーザー情報	iii
オンライン登録	iii
電話によるサポート	iii
ユーザーの皆様へ	iv
製品情報	iv
同梱品	v
目次	vi
本マニュアルについて	ix
マニュアル表記について	x
第1章 はじめに	1
概要	1
特長	2
システム要件	3
コンソール	3
コンピューター	3
OS	3
製品各部名称	4
CS62KM ハードウェア外観	4
第2章 ハードウェアのセットアップ	6
ハードウェアのセットアップ	7
接続図	7
第3章 基本操作	9
ポート選択	9
ポートの手動切替	9
マウスによる切り替え	9
ホットキーによる切り替え	10
マルチスクリーンコントロールによる切り替え	10

ポートIDの付番	10
ホットプラグ	10
電源オフと再起動	11
第4章 ホットキー操作.....	12
ポートの切り替え.....	12
ポートの循環切替	12
ポートの直接切替	13
ホットキー設定モード.....	14
HSMの起動.....	14
HSM起動の代替キー.....	15
ポート切り替えの代替キー	15
キーボード操作プラットフォーム.....	16
本体設定の一覧表示.....	16
USBのリセット	17
キーボード言語	17
ホットキーによるポート切り替え.....	17
デフォルト設定の復元.....	18
ファームウェアアップグレードモード.....	18
電源状態検知機能	19
マウスエミュレーション.....	19
マウスによるポート切り替え.....	20
画面サイズ.....	21
マルチスクリーンコントロール	27
ポートの先行切替	29
モニターのレイアウト.....	30
マルチスクリーンコントロールのマウスフォーカス.....	33
HSM一覧表.....	34
第5章 キーボードエミュレーション.....	37
Macキーボード	37
第6章 ファームウェアアップグレード ユーティリティー	38
操作を始める前に.....	38
アップグレードの開始	39
付録.....	44
安全にお使いいただくために.....	44

技術サポート.....	46
インターナショナル	46
北米	46
仕様	47
トラブルシューティング	48
ホットキーのデフォルト設定	49
ATEN保証ポリシー	50

本マニュアルについて

本書は、CS62KMを最大限に活用していただくためのマニュアルです。本書では、製品の取り付け・セットアップ・操作の方法について解説しています。マニュアルは下記のとおり構成されています。

第1章 はじめに:CS62KMを紹介します。製品の特長、機能概要および製品本体の各部分名称について説明します。

第2章 ハードウェアのセットアップ:図を用いてシステムのセットアップ方法を、順を追って説明します。

第3章 基本操作:CS62KMを操作する上での基本的な考え方について説明します。

第4章 ホットキー操作:CS62KMのシステムにおけるホットキー操作に関連するすべての概念と手順の詳細について説明します。

第5章 キーボードエミュレーション:PCからMacキーボードへのエミュレーションマッピングを表形式で説明します。

第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:このユーティリティを使用してCS62KMのファームウェアを最新バージョンにアップグレードする方法について説明します。

付録:製品仕様およびその他の技術情報を巻末に掲載しています。

注意:

- ◆ 本書を十分にお読みの上、設置および操作手順に従って、本機および接続機器の破損を防止してください。
 - ◆ 本書のリリース以降、製品の機能や特長が追加・改良・削除されることで、内容が更新される場合があります。最新のユーザーマニュアルは、
<http://www.aten.com/global/en/>にてご確認ください。
-

マニュアル表記について

このマニュアルでは、次の規則を使用します。

[] 入力するキーを示します。例えば[Enter]はEnterキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記します。

1. 番号が付いている場合は、番号に従って操作してください。

◆ ◆印は情報を示しますが、作業の手順ではありません。

> 矢印は操作の手順を示します。例えば、「スタート」>「実行」は、「スタート」メニューを開き、「実行」を選択する操作です。



重要な情報です。

第1章 はじめに

概要

CS62KMは、1台のキーボードとマウスで最大2台のコンピューターを操作できる2ポートUSBケーブルKMスイッチです。本製品は、有線リモコン、キーボードホットキー、マウスカーソル、マウスホイールなど、複数の切替方法に対応しています。中でも、マウスカーソルによる切替は ATEN 独自のマルチスクリーンコントロール技術を採用しており、画面の境界線を越えて目的のコンピューターのディスプレイにカーソルを移動させるだけで直感的に切り替えられます。マウスカーソルをどの方向に動かしても、操作対象を切り替えられるのが特長です。

CS62KMのマルチスクリーンコントロール機能は最大2台のモニターに対応し、コンピューター間の切り替えを迅速化することで、スムーズでストレスフリーな操作を実現します。2画面でのマルチタスク作業を効率化するだけでなく、緊急時にコンピューターの監視と管理を迅速に行う必要がある場合に特に有用です。

CS62KMのその他の高度な機能として、外部電源アダプター不要のバスパワーモードも挙げられます。豊富な機能を備えた CS62KMは、管理業務の簡素化、省スペース化、作業生産性の向上を目的として設計されています。特に、あらゆる業界の制御室における複雑なマルチタスク環境に適しています。

特長

- ◆ 1組のUSBキーボード／マウスで最大2台のコンピューターを操作
- ◆ マルチスクリーンコントロール – マウスポインターをディスプレイの境目を越えて隣のディスプレイに移動するだけで、操作するコンピューターを切り替え可能
- ◆ コンピューターの切替方法 – 有線リモコン、ホットキー、マウスカーソル、マウスホイール^{※1}
- ◆ Windows対応
- ◆ ソフトウェア不要
- ◆ ファームウェアアップグレード対応
- ◆ USBホットプラグ対応
- ◆ バスパワー – 外部電源アダプター不要^{※2}
- ◆ iOS、Android、macOS、LinuxのOSで動作^{※3}

注意:

1. マウスによるポート切替はマウスエミュレーションモードでのみ使用可能です。3ボタンUSBホイールマウスのみサポートされます。
 2. USBバスパワー仕様により、製品本体は接続されたコンピューターから給電できます。ただし、十分な電源を得るには、コンピューターを2台接続することが必要です。
 3. マルチスクリーンコントロールはWindowsのみで機能します。iOS、Android、macOS、LinuxのOSでは動作しません。
-

システム要件

コンソール

- ◆ USBマウス
- ◆ USBキーボード

コンピューター

各コンピューターで以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ ビデオディスプレイ
- ◆ USB Type-Aポート

OS

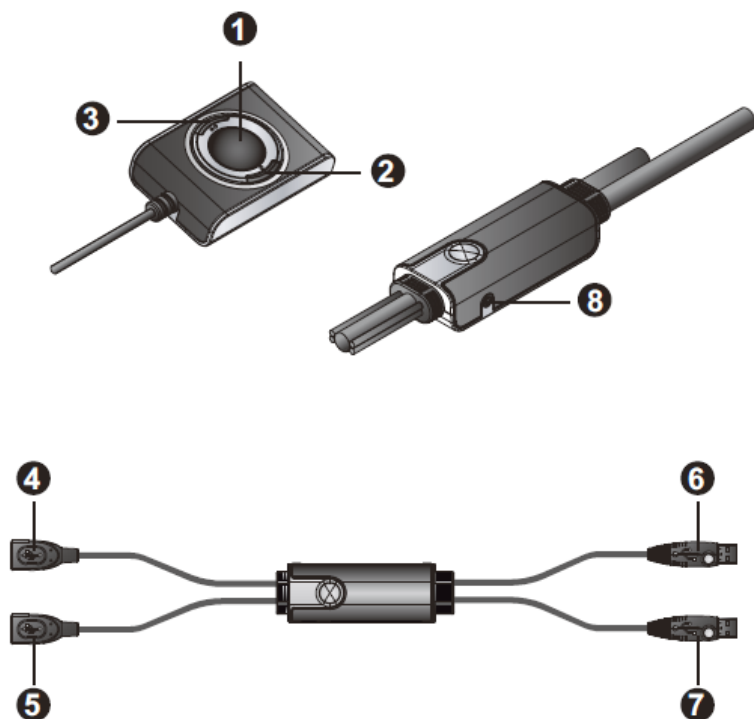
- ◆ Windows
- ◆ macOS
- ◆ iOS
- ◆ Linux
- ◆ Android

注意:

マルチスクリーンコントロールはWindowsのみで機能します。iOS、Android、macOS、LinuxのOSでは動作しません。

製品各部名称

CS62KM ハードウェア外観



番号	名称	説明
1	ポート選択ボタン	有線リモコンのこのボタンを押すと、キーボード／マウスの操作対象を 2 台のコンピューター間で切り替えます。
2	ポート1 LED	ポート1に接続されているコンピューターが、キーボード／マウスの操作対象になっているときに点灯します。
3	ポート2 LED	ポート2に接続されているコンピューターが、キーボード／マウスの操作対象になっているときに点灯します。
4	キーボード用コネクタ(紫)	キーボードを接続します。

番号	名称	説明
5	マウス用コネクタ(緑)	マウスを接続します。
6	PC 1 USB ケーブル	1台目のコンピューターを接続します。
7	PC 2 USB ケーブル	2台目のコンピューターを接続します。
8	有線リモコン用 ジャック	有線リモコンを使用する場合は、リモコンのケーブル部分をここに接続します。

第2章 ハードウェアのセットアップ

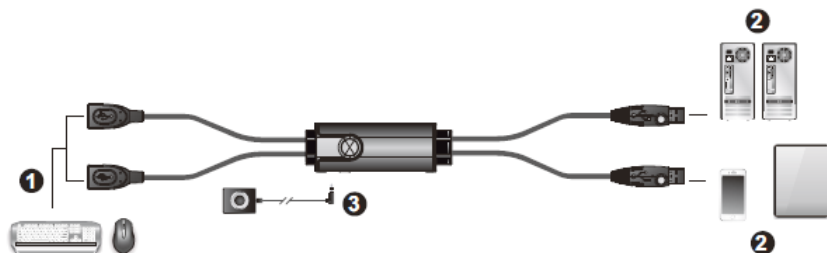


1. 機器の設置に際し重要な情報をp.44に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 電力サージや静電気によるシステムの損傷を防ぐために、すべての接続機器が適切に接地されていることが重要です。
3. 取り付けるすべてのデバイスの電源がオフになっていることを確認してください。キーボードによる電源オン機能(Wake-on-keyboard)が搭載されているコンピューターは、電源ケーブルも抜いてください。
4. 環境温度が高い場合は、注意してデバイスを取り扱ってください。このような条件下では、デバイスの表面が過熱する可能性があります。例えば、高温対応製品で、環境温度が50°Cに近づくと、デバイスの表面温度が70°C以上になる場合があります。

ハードウェアのセットアップ

CS62KMをセットアップするには、以下の接続図（図中の番号は下記手順に対応）を参照し、以下の手順で作業します。

接続図



1. キーボードを本体のキーボードケーブルの端にある紫コネクタに接続し、マウスも本体のマウスケーブルの端にある緑コネクタに接続します。
2. 製品本体の PC 1 USB ケーブルを 1 台目のコンピューターまたは Android/iOS モバイルデバイスの USB ポートに接続し、PC 2 USB ケーブルを 2 台目のコンピューターまたは Android/iOS モバイルデバイスの USB ポートに接続します。

注意:

1. 電源アダプターは同梱されていません。USBバスパワーにより、製品本体はコンピューターから給電できます。十分な電力が供給されるためには、2台のコンピューターに接続する必要があります。
 2. Android/iOSモバイルデバイスを接続する際は、適切なUSBアダプターをご使用ください（例: iPad Proの場合はUSB Type-A - USB Type-Cアダプターを使用します）。
-

3. （オプション）有線リモコンを使う場合は、リモコンのケーブルを本体側面にある

有線リモコン用ジャックに差し込みます。

注意:

本製品はホットキーだけで操作できるため、有線リモコンの接続は任意です。

4. コンピューターの電源を入れます。

注意:

CS62KMIに接続されているコンピューターとデバイスも正しく接地されていることを確認してください。

第3章

基本操作

ポート選択

CS62KMIには、以下の便利な切替方法があります。

- ◆ 手動: 有線リモコンのポート選択ボタンを押します。
- ◆ マウス: スクロールホイールをダブルクリックします。
- ◆ ホットキー: キーボードでキーの組み合わせを入力します。
- ◆ マルチスクリーンコントロール: 画面の枠を越えてマウスカーソルを移動させます。

ポートの手動切替

- ◆ 有線リモコンのポート選択ボタンを押すと、キーボード／マウスの操作対象を 2 台のコンピューター間で切り替えます。

マウスによる切り替え

マウスによるポート選択: USBマウスのスクロールホイールをダブルクリックすると、ポートが切り替わります。

注意:

1. マウスによるポート切り替え機能は、3ボタンUSBホイールマウスでのみサポートされています。
 2. この機能はデフォルトでは無効になっています。有効にする方法は、p.9「マウスによる切り替え」を参照してください。
 3. マウス切り替えは、マウスエミュレーションが有効になっている場合にのみサポートされます。p.19「マウスエミュレーション」を参照してください。
-

ホットキーによる切り替え

ホットキーによるポート選択: キーボードからのポート切り替えは、すべて、[Scroll Lock] キーを2回押して始めます。ホットキーのパラメーターの詳細については、p.12「ポートの切り替え」を参照してください。

マルチスクリーンコントロールによる切り替え

マルチスクリーンコントロールは、カーソルを画面の境界を越えて移動させることでポートを選択する機能です。カーソルが次の画面に移動すると、キーボード／マウスの操作対象となるコンピューターが切り替わります。この機能を使用する前に、OS側でマウス加速を無効にし、以下の設定を行う必要があります。

- ♦ ホットキーを使用して、接続されているすべてのディスプレイの画面サイズを設定しておく必要があります。詳細については、p.21「画面サイズ」を参照してください。
- ♦ ホットキーを使用して、モニターのレイアウトを設定します。詳細については、p.30「モニターのレイアウト」を参照してください。

ポートIDの付番

CS62KMのPC 1 USBケーブルにはポート番号1が、PC 2 USBケーブルにはポート番号2が割り当てられます。ポートIDは、ホットキーによるポート選択方法でキーボード／マウスの操作対象となるコンピューターを指定するために使用されます(詳細はp.13「ポートの直接切替」を参照してください)。

ホットプラグ

CS62KMIは、USBホットプラグに対応しています。このため、製品本体の電源を切らなくても、ポートからケーブルを抜くことで周辺機器を取り外したり、ケーブルを接続することで機器をシステムに追加したりすることができます。

電源オフと再起動

CS62KM本体の電源を切る必要がある場合は、電源を入れなおす前に、以下を実行する必要があります。

1. 製品本体に接続しているすべてのコンピューターをシャットダウンします。
2. 5秒ほど待ちます
3. コンピューターの電源を入れます。電源投入する順番は問いません。

第4章 ホットキー操作

CS62KMIは、キーボードから製品本体を簡単に制御・設定するのに便利なホットキー機能を備えています。

ポートの切り替え

ポートを切り替える操作は、すべて[**Scroll Lock**] キーを2回タップすることから始まります。以下の表では、キーの組み合わせで実行できるアクションについて説明します。

注意:

[Scroll Lock]キーの使用が、コンピューターで実行されている他のプログラムと競合する場合は、代わりに[**Ctrl**]キーを使用できます。詳細については、p.15「ポート切り替えの代替キー」を参照してください。

ポートの循環切替

ホットキー	アクション
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	キーボード／マウスの操作対象を、現在のポートから次のポート(1→2、2→1)に切り替えます。キーボードとマウスが異なるポートを操作している場合でも、この操作で同じポートに揃えます。

(例)

キーボード／マウスの操作対象をポート1からポート2に移動するには、以下の手順を実行します。

1. [**Scroll Lock**]キーを2回押します。
2. [**Enter**]キーを押します。

ポートの直接切替

ホットキー	アクション
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	キーボード／マウスの操作対象を、現在のポートから指定したID([n])のポートに切り替えます。キーボードとマウスが異なるポートを操作している場合でも、この操作で同じポートに揃えます。

注意:

[n]は、コンピューターのポートID(1または2)を表します。ホットキーの組み合わせを入力するときは、[n]を適切なポートIDに置き換えてください。

(例)

キーボード／マウスの操作対象を、ポートから指定したポート番号(例:ポート2)に移動するには、以下の手順を実行します。

1. [Scroll Lock]キーを2回押します。
2. [2]キーを押します。
3. [Enter]キーを押します。

ホットキー設定モード

ホットキー設定モードは、CS62KMの本体設定に使用します。すべての操作は、ホットキー設定モード(HSM)の起動から始まります。

HSMの起動

HSMを起動するには、次の手順で操作します。

1. [Num Lock]キーを押したままにします。
2. [-]キーを押したら、キーから指を離します。
3. [Num Lock]キーから指を離します。

注意:

1. HSMの起動には代替キーの組み合わせがあります。詳細は下記を参照してください。
 2. [-](マイナス)キーは、押したら0.5秒以内に指を離してください。そうしないと、ホットキーの呼び出しがキャンセルされます。
-

HSM がアクティブな場合、キーボードのCapsLockとScroll LockのLEDが連続して点滅し、HSM が有効であることを示します。HSM を終了すると、点滅が停止し、通常の状態に戻ります。

HSM が有効な間は、通常のキーボードとマウスの機能は一時停止し、ホットキーに準拠したキー操作とマウスクリックのみ受け付けます(詳細は後続のセクションを参照)。

一部のホットキー操作では、操作完了後に自動的に HSM が終了します。その他の操作では、手動で終了する必要があります。

手動で HSM を終了するには、[Esc] キーまたはスペースキーを押してください。

HSM起動の代替キー

デフォルトの設定がコンピューターで実行されているプログラムと競合する場合に備えて、HSM呼び出しキーの代替設定が用意されています。

代替のHSM呼び出し設定に切り替えるには、次の手順で操作します。

1. HSMを起動します (p.14参照)。
2. [H]キーを押したら、キーから指を離します。

HSM呼び出しキーは、([Num Lock] + [-])ではなく[Ctrl] + [F12] になります。

注意:

この手順は、2つの状態を交互に切り替えます。元のHSM呼び出しキーに戻すには、HSMを呼び出し、[H]キーをもう一度押して、指を離します。

ポート切り替えの代替キー

ポート切り替えを有効にするもう1つの方法は、[Ctrl]キーを2回押す方法です。代替のホットキーを使用するには、次の手順で操作します。

1. HSMを起動します (p.14参照)。
2. [T]キーを押したら、キーから指を離します。

注意:

この手順は、2つの状態を交互に切り替えます。元の[Scroll Lock][Scroll Lock]の方法に戻すには、HSMを呼び出し、[T]キーをもう一度押して、キーから指を離します。

キーボード操作プラットフォーム

CS62KMのポートは、デフォルトでは、PC互換のキーボード操作プラットフォーム用に設定されています。コンソールでPC互換キーボードが使用されていて、ポートにMacが接続されている場合は、ポートのキーボード操作プラットフォーム設定を変更することで、PC互換キーボードでMacキーボードをエミュレートできます。手順は次のとおりです。

1. 設定対象のポートに移動します。
2. HSMを起動します(p.14参照)。
3. 適切なファンクションキー(下表参照)を押したら、キーから指を離します。この手順が完了すると、HSMは自動的に終了します。

ファンクションキー	操作方法
[F1]	SPCモードを設定し、特殊なオペレーティング・システムで標準(104キー)キーボードとして動作できるようにします。
[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします(詳細はp.37を参照)。
[F10]	キーボードのOSを自動的に検出します。

本体設定の一覧表示

製品本体における設定を一覧表示するには、次の手順で操作します。

1. テキストエディターまたはワープロソフトを開き、ページウィンドウにカーソルを置きます。
2. HSMを起動します(p.14参照)。
3. [F4]キーを押したら、キーから指を離します。そうすると、設定が表示されます。

USBのリセット

USBをリセットする必要がある場合は、次の手順で操作します。

1. HSMを起動します (p.14参照)。
2. [F5] キーを押したら、キーから指を離します。

キーボード言語

キーボードの言語を変更するには、次の手順で操作します。

1. HSMを起動します (p.14参照)。
2. [F6] [nn] [Enter] の順にキーを1つずつ押して離します。

注意:

nn は、キーボード言語コードを表す2桁の数字です (米国英語: 33、フランス語: 08、日本語: 15、ドイツ語: 09)。

ホットキーによるポート切り替え

ホットキーによるポート切り替えを変更するには、次の手順で操作します。

1. HSMを起動します (p.14参照)。
2. [X] [Enter] キーを押します。

注意:

この手順は、2つの状態を交互に切り替えます。この機能を変更するには、手順1と2を繰り返してください。

デフォルト設定の復元

製品本体を初期化してデフォルトのホットキー設定に戻すには、次の手順で操作します。

1. HSMを起動します(p.14参照)。
2. **[R] [Enter]** キーを押します。

すべてのホットキー設定が工場出荷時のデフォルト値に戻ります(p.49「ホットキーのデフォルト設定」を参照)。

ファームウェアアップグレードモード

製品本体をファームウェアアップグレードモードに設定するには、次の手順で操作します。

1. HSMを起動します(p.14参照)。
2. 次のキーを順番に押します。**[U] [P] [G] [R] [A] [D] [E]**
3. **[Enter]** キーを押します。このとき、フロントパネルのLEDが点滅し、アップグレードの開始を示します。

注意:

ファームウェアアップグレードモードを終了するには、製品本体の電源をオフにする必要があります。

電源状態検知機能

電源状態検知機能を使うと、選択中のポートのPCが電源オフになっている場合、CS62KMIは自動的に次の電源がオンになっているコンピューターへと切り替えます。電源状態検知機能は有効または無効にできます。デフォルトでは、有効に設定されています。電源状態検知機能を無効にするには、次の手順で操作します。

1. HSMを起動します (p.14参照)。
2. [E] キーを押して離します。

注意:

この手順は、2つの状態を交互に切り替えます。この機能を変更するには、手順1と2を繰り返してください。

マウスエミュレーション

マウスエミュレーションの有効と無効を切り替えるには、次の手順で操作します。

1. HSMを起動します (p.14参照)。
2. [M] キーを押します。

注意:

この手順は、2つの状態を交互に切り替えます。この機能を変更するには、手順1と2を繰り返してください。

マウスによるポート切り替え

マウスホイールを2回クリックすることでポートを切り替えられます。この機能を使用するには、マウスエミュレーションを有効にする必要があります。この機能を変更するには、次の手順で操作します。

1. HSMを起動します(p.14参照)。
2. [W] キーを押します。

注意:

1. この機能は、3ボタンUSBホイールマウスでのみサポートされています。初期設定では無効になっています。この機能は、マウスエミュレーションが有効になっている場合にのみサポートされます。詳しくは、「[マウスエミュレーション](#)」を参照してください。
 2. この手順は、2つの状態を交互に切り替えます。この機能を変更するには、手順1と2を繰り返してください。
-

画面サイズ

各モニターの画面サイズを設定することで、マウスカーソルが一方のコンピューターの画面からもう一方のコンピューターの画面に移動した際に、CS62KMがコンピューターを切り替えることができるようになります。マルチスクリーンコントロール機能を使用するには、画面サイズの設定が必要です。手順は次のとおりです。

画面サイズの設定

1. 設定するポートをキーボード／マウスの操作対象に切り替えます。
2. HSMを起動します (p.14参照)。
3. [L] [1] キーを押します。
4. ディスプレイの左上隅でマウスの左ボタンを押したまま、右下隅までドラッグしてからボタンを離します。
5. 接続されている各モニターについて、この手順を繰り返します。

画面解像度の設定

1. 設定するポートをキーボード／マウスの操作対象に切り替えます。
2. HSMを起動します (p.14参照)。
3. [L] [2] [**解像度**(例: 3840x2160)] [Enter] キーを押します。CS62KMでサポートされている解像度の一覧については、p.22「サポートされる解像度」を参照してください。
4. 設置環境に接続されている各モニターについて、この手順を繰り返します。

サポートされる解像度

水平	垂直
640	350
640	400
640	480
720	288
720	400
720	480
720	756
768	480
800	600
840	480
854	480
960	540
960	640
1024	576
1024	600
1920	1080
1024	768
1152	864
1176	774
1280	600
1280	720
1280	768
1280	800
1280	960
1280	1024
1360	768

水平	垂直
1366	768
1400	1050
1440	756
1440	900
1600	1024
1600	1200
1680	720
1680	1050
1768	992
1776	1000
1792	1344
1856	1392
1920	1200
1920	1440
1920	2160
2048	1152
2048	1536
2560	1080
2560	1440
2560	1600
2560	2048
3200	2048
3200	1800
3200	2400
3440	1440
3840	2160
3840	2400

水平	垂直
4090	2160
4096	2160
4096	3072
350	640
400	640
480	640
288	720
400	720
480	720
756	720
480	768
600	800
480	840
480	854
540	960
640	960
576	1024
600	1024
1080	1920
768	1024
864	1152
774	1176
600	1280
720	1280
768	1280
800	1280
960	1280

水平	垂直
1024	1280
768	1360
768	1366
1050	1400
756	1440
900	1440
1024	1600
1200	1600
720	1680
1050	1680
992	1768
1000	1776
1344	1792
1392	1856
1200	1920
1440	1920
2160	1920
1152	2048
1536	2048
1080	2560
1440	2560
1600	2560
2048	2560
2048	3200
1800	3200
2400	3200
1440	3440

水平	垂直
2160	3840
2400	3840
2160	4090
3072	4096
1720	1440
1440	1720
3440	1440

マルチスクリーンコントロール

マルチスクリーンコントロール(通常モード)

マルチスクリーンコントロールの通常モードを変更するには、以下の手順で操作します。

1. HSMを起動します(p.14参照)。
2. [Y] [Enter] キーを押します。

注意:

1. この手順は、2つの状態を交互に切り替えます。マルチスクリーンコントロールの通常モードを有効／無効にするには、手順1と2を繰り返してください。
 2. このホットキーは、ファームウェアバージョンv1.1.101以降のCS62KMでのみサポートされています。
 3. マルチスクリーンコントロールの通常モードとコンボモードを動作させるには、マウスエミュレーションを有効にする必要があります。詳細はp.19「マウスエミュレーション」を参照してください。
 4. マルチスクリーンコントロールの通常モードとコンボモードを動作させるには、画面サイズ(p.21)とモニターレイアウト(p.30)の設定が必要です。
 5. 対応するホットキーを入力することで、マルチスクリーンコントロールの通常モードとコンボモードを切り替えることができます。
 6. マルチスクリーンコントロールのコンボモードを無効にすると、マルチスクリーンコントロールの通常モードも無効になります。
-

マルチスクリーンコントロール(コンボモード)

マルチスクリーンコントロールのコンボモードが有効になっている場合、[Ctrl] キーを押しながらカーソルを画面の境界を越えて移動することでポートを切り替えることができます。コンボモードを変更するには、次の手順で操作します。

1. HSMを起動します(p.14参照)。
2. [Y] [1] [Enter] キーを押します。

注意:

1. この手順は、2つの状態を交互に切り替えます。マルチスクリーンコントロールのコンボモードを有効／無効にするには、手順1と2を繰り返してください。
 2. このホットキーは、ファームウェアバージョンv1.1.104以降のCS62KMでのみサポートされています。
 3. マルチスクリーンコントロールの通常モードとコンボモードを動作させるには、マウスエミュレーションを有効にする必要があります。詳細はp.19「マウスエミュレーション」を参照してください。
 4. マルチスクリーンコントロールの通常モードとコンボモードを動作させるには、画面サイズ(p.21)とモニターレイアウト(p.30)の設定が必要です。
 5. 対応するホットキーを入力することで、マルチスクリーンコントロールの通常モードとコンボモードを切り替えることができます。
 6. マルチスクリーンコントロールのコンボモードを無効にすると、マルチスクリーンコントロールの通常モードも無効になります。
-

ポートの先行切替

ポートの先行切替機能を使用すると、マウスカーソルがディスプレイの端に到達する前に、次の利用可能なポートに切り替えることができます。この機能を変更するには、以下の手順で操作します。

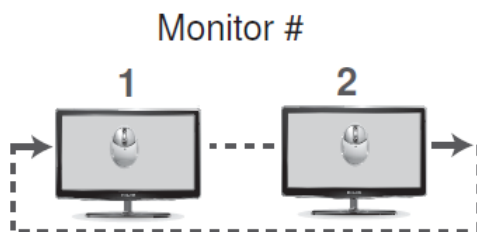
1. HSMを起動します(p.14参照)。
2. CS62KMのファームウェアのバージョンに応じて、次の操作を行います。
 - a) CS62KMのファームウェアバージョンがv1.1.101～v1.1.105の場合は、[C]キーを押します。
 - b) CS62KMのファームウェアバージョンがv1.1.105以降の場合は、[C] [Enter]キーを押します。

注意:

1. この手順は、2つの状態を交互に切り替えます。ポートの先行切替を有効／無効にするには、手順1と2を繰り返してください。
 2. このホットキーは、ファームウェアバージョンv1.1.101以降のCS62KMでのみサポートされています。
-

例

モニター2の右端にマウスカーソルを移動して、ポートをモニター1に切り替えます。



モニターレイアウト

CS62KMは、マウスカーソルが画面の左右上下に移動した際に、適切なコンピューターに自動的に切り替わるように、モニターの物理的なレイアウトを設定します。マルチスクリーンコントロール機能を使用する前に、ホットキーを使用して各ディスプレイの画面サイズを設定する必要があります (p.21「画面サイズ」参照)。

注意:

モニターレイアウトを設定する前に、マルチスクリーンコントロール機能 (p.27参照) が有効になっていることを確認してください。

マルチスクリーンコントロール機能を使用するには、Windowsのコントロールパネルでマウスの加速を無効にする必要があります。

レイアウトを設定するには、以下の手順で操作します。

1. HSMを起動します (p.14参照)。
2. 以下のパラメーターを使用してレイアウトを入力します。

パラメーター	行	モニター
P	A	1、2
	B	1、2

パラメーターは文字「P」を指し、すべてのコマンドはこの文字で始まる必要があります (PA12)。**行**は、横一列に並んだディスプレイのグループを指し、各文字が行を表します (A、B)。**モニター**は、各行のディスプレイを指します (1、2)。レイアウトに表示されている順に、左から右へ、行Aから始めて番号を入力してください。この番号は、CS62KMのポート番号に接続されているコンピューターを表します。

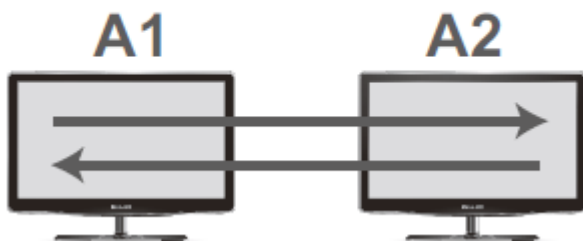
注意:

モニター1はポート1に接続されたモニターを指し、モニター2はポート2に接続されたモニターを指します。

以下に、各種レイアウトと、マウскарソルがディスプレイの境界を越えてコンピューターを切り替える位置を示す矢印の例を示します。

例1

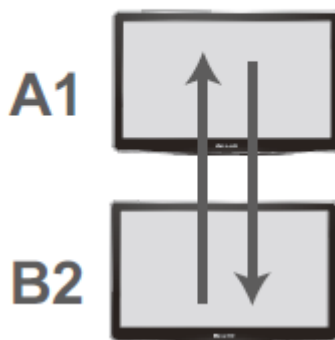
レイアウトを入力するには、「P」の後に「A」と入力し、各ディスプレイの番号を続けて入力します。1 行に 2 台のディスプレイがある場合は、「PA12」と入力して [Enter] キーを押します。モニター 1 と 2 は、横並びのモニターレイアウトで左右に配置されます。

1 行 2 列のモニターレイアウト

例2

レイアウトを入力するには、「P」の後に「A」と入力し、各ディスプレイの番号を続けて入力します。上下の段にそれぞれ 1 台ずつディスプレイがある場合は、「PA1B2」と入力して [Enter] キーを押します。モニター 1 と 2 は、上下段レイアウトでそれぞれ上段と下段に配置されます。

2 行 1 列のモニターレイアウト



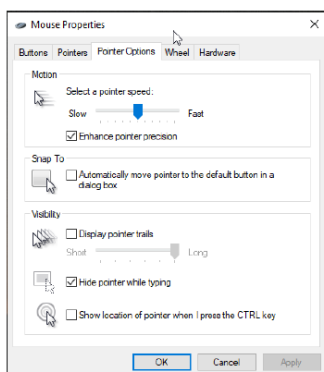
マルチスクリーンコントロールのマウスフォーカス

マルチスクリーンコントロールのマウスフォーカスを変更するには、以下の手順で操作します。

1. HSMを起動します (p.14参照)。
2. CS62KMのファームウェアのバージョンに応じて、次の操作を行います。
 - a) CS62KMのファームウェアバージョンがv1.1.103～v1.1.105の場合は、**[Q]**キーを押します。
 - b) CS62KMのファームウェアバージョンがv1.1.105以降の場合は、**[Q] [Enter]**キーを押します。

注意:

1. この手順は、2つの状態を交互に切り替えます。マルチスクリーンコントロールのマウスフォーカスを有効／無効にするには、手順1と2を繰り返してください。
 2. このホットキーは、ファームウェアバージョンv1.1.103以降のCS62KMでのみサポートされています。
-
3. マルチスクリーンコントロールの有効時に、カーソルがディスプレイの境界を越えて移動してポートを切り替えると、マウスの設定を調整するためのポップアップメッセージが表示されます。



HSM一覧表

HSMの起動後(p.14参照)、次のいずれかのキーを入力して、対応する機能を実行してください。

キー	機能
[C] [Enter] / [C]	ポートの先行切替を有効／無効にします。 - CS62KMのファームウェアバージョンがv1.1.101～v1.1.105の場合は[C] キーを押します。 - CS62KMのファームウェアバージョンがv1.1.105以降の場合は[C] [Enter] キーを押します。 注意: このホットキーは、ファームウェアバージョンv1.1.101以降のCS62KMでのみサポートされています。
[E]	電源状態検知機能のオンとオフを切り替えます。
[H]	HSM呼び出しキーをデフォルトと代替で交互に切り替えます。
[L] [n]	n = 1 モニターの画面サイズを設定します。 注意: マルチスクリーンコントロール機能を使用するには、画面サイズを設定してください。
[L] [n] [解像度] [Enter]	n = 2 モニターの解像度を設定します。 注意: マルチスクリーンコントロール機能を使用するには、p21.「画面解像度の設定」を元に解像度を設定してください。
[M]	マウスエミュレーションを有効または無効に切り替えます。
[P] [m] [n] [Enter]	物理モニターのレイアウトを、マルチスクリーンコントロールに対応できるように設定します。 m : 行番号を表します(AまたはB)。 n : モニターの列番号を表します(1または2)。 注意: モニターレイアウトを設定する前に、マルチスクリーンコントロール機能(p.27参照)が有効になっていることを確認してください。

キー	機能
[Q] [Enter] / [Q]	マルチスクリーンコントロール機能のマウスフォーカスを有効／無効にします。 ◆ CS62KMのファームウェアバージョンがv1.1.103～v1.1.105の場合は[Q] キーを押します。 ◆ CS62KMのファームウェアバージョンがv1.1.105以降の場合は[Q] [Enter]キーを押します。 注意:このホットキーは、ファームウェアバージョンv1.1.103以降のCS62KMでのみサポートされています。
[R] [Enter]	ホットキーの設定をデフォルトの状態にリセットします。
[T]	ポート切替キーの設定を、デフォルト([Scroll Lock][Scroll Lock])と代替([Ctrl][Ctrl])で交互に切り替えます。
[u] [p] [g] [r] [a] [d] [e] [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを呼び出します。
[W]	マウスによるポート切替機能を有効または無効に切り替えます。
[X] [Enter]	ホットキーによるポート切替機能を有効または無効にします。
[Y] [Enter]	マルチスクリーンコントロール機能の通常モードの有効／無効を切り替えます。 注意: 1. このホットキーは、ファームウェアバージョンv1.1.101以降のCS62KMでのみサポートされています。 2. マルチスクリーンコントロール機能の通常モードおよびコンボモードを動作させるには、画面サイズ (p.21) とモニターレイアウト (p.30) の設定が必要です。

キー	機能
[Y] [1] [Enter]	マルチスクリーンコントロール機能のコンボモードの有効／無効を切り替えます。 注意: - このホットキーは、ファームウェアバージョンv1.1.101以降のCS62KMでのみサポートされています。 - マルチスクリーンコントロール機能の通常モードおよびコンボモードを動作させるには、画面サイズ (p.21) とモニターレイアウト (p.30) の設定が必要です。
[F1]	キーボードとマウスをSPCモードに設定し、特殊なオペレーティング・システムで標準(104キー)キーボードとして動作できるようにします。
[F2]	Macキーボードエミュレーションを有効にします。
[F4]	製品本体における現在の設定を、テキストエディターまたはワープロソフトで出力します。
[F5]	USBキーボードとマウスのリセットを実行します。
[F6] [nn] [Enter]	キーボードの言語レイアウトを設定します。[nn]は、キーボード言語コードを表す2桁の数字です (US英語:33、フランス語:08、ドイツ語:09、日本語:15)。
[F10]	キーボードのOSを自動的に検出します。

第5章 キーボードエミュレーション

Macキーボード

PC互換(101/104キー)キーボードは、Macキーボードの機能をエミュレートできます。
エミュレーションマッピングは下表のとおりです。

PCキーボード	Macキーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl][1]	
[Ctrl][2]	
[Ctrl][3]	
[Ctrl][4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意:

キーのエミュレーションを行う場合は、最初のキー (Ctrl) を押して離し、続いて目的のキーを押して離してください。Windows の [Ctrl] + [C] のような同時押しではなく、順番に操作します。

第6章

ファームウェアアップグレード ユーティリティ

Windows 用のファームウェアアップグレードユーティリティは、設置環境内の CS62KM を自動的にアップグレードするためのツールです。このユーティリティは、各機器専用のファームウェアアップグレードパッケージに含まれています。

新しいファームウェアが公開されると、そのアップグレードパッケージが弊社ウェブサイト (<http://www.aten.com/jp/ja/>) に掲載されます。最新のファームウェアおよび関連情報については、このサイトを定期的にご確認ください。

操作を始める前に

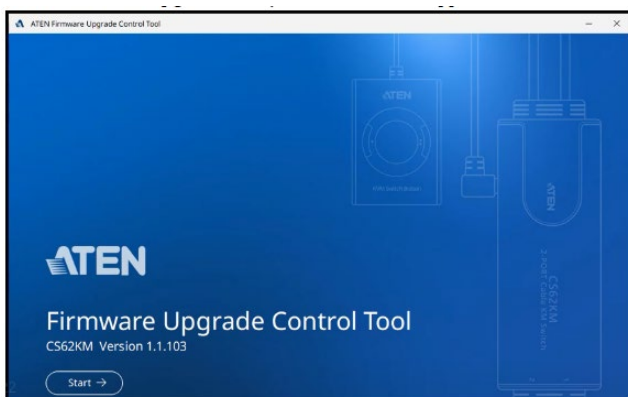
1. 本製品に接続されていないコンピューターから、弊社ウェブサイトの「サポート & ダウンロード」サイトにアクセスし、製品型番 (CS62KM) を選択して、利用可能なファームウェアアップグレードパッケージの一覧を取得します。
2. インストールするファームウェアアップグレードパッケージ (通常は最新) を選択し、コンピューターにダウンロードします。
3. CS62KM をシステムから取り外し、すべてのケーブル接続を取り外します。

アップグレードの開始

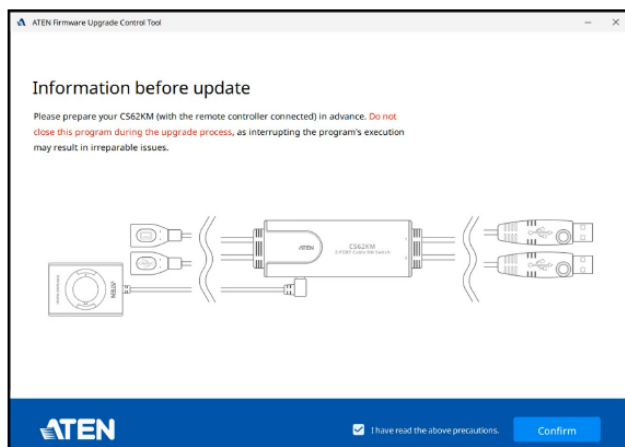
ファームウェアをアップグレードするには、次の手順で操作します。

1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージファイルを実行します。ファイルアイコンをダブルクリックするか、コマンドラインを開いてフルパスを入力してください。

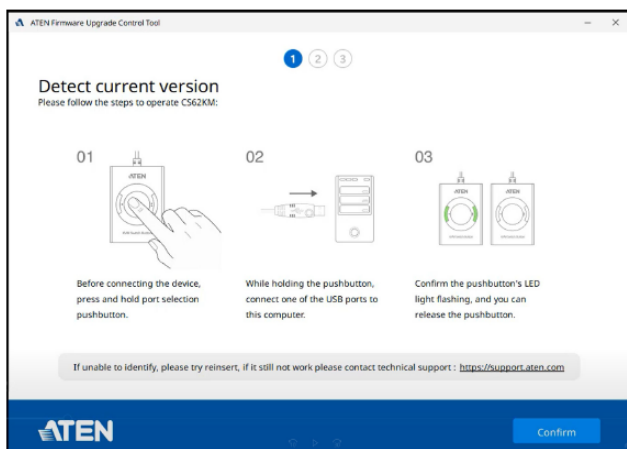
ファームウェアアップグレードユーティリティの初期画面が表示されたら、「開始」をクリックします。



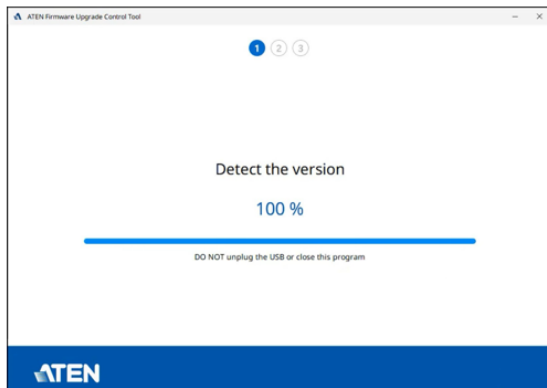
2. 「アップグレードを始める前に」というタイトルの注意書きに目を通したら、「上記の注意事項を読みました」ラジオボタンをクリックして、「確認」をクリックします。



3. 画面の指示に従い、確認ボタンが有効になるまで（灰色から青色に変わるまで）待ち、「確認」ボタンをクリックします。



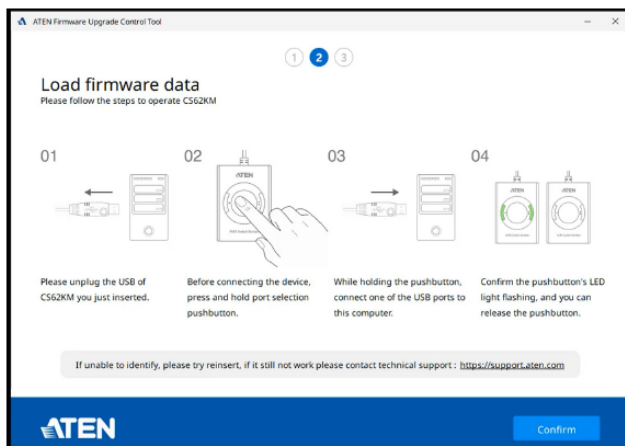
4. 下記の画面が表示されたら、CS62KMがファームウェアのバージョンを検出するまで待機します。



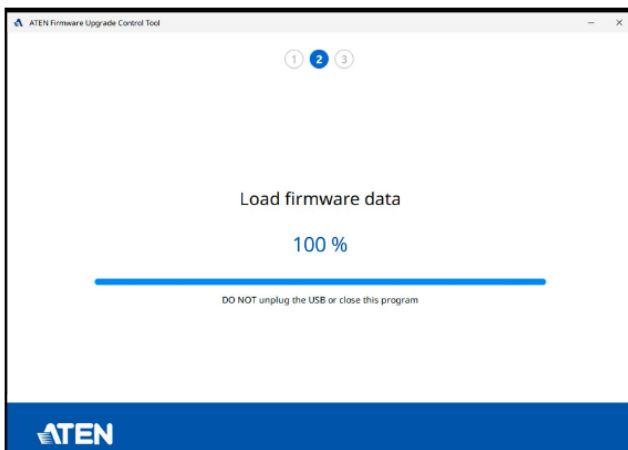
5. 検出が完了し、以下の画面が表示されたら、画面の指示に従ってファームウェアアップグレードモードを起動します。ファームウェアアップグレードモードが有効になると、「確認」ボタンが有効になります（灰色から青色に変わります）。そうしたら、「確認」をクリックします。

注意:

CS62KMがファームウェアアップグレードモード中は、キーボードとマウスの通常の機能は停止します。コンソールを通常どおり操作するには、ファームウェアのアップグレードを完了するか、ファームウェアアップグレードを実施する前に終了する必要があります。



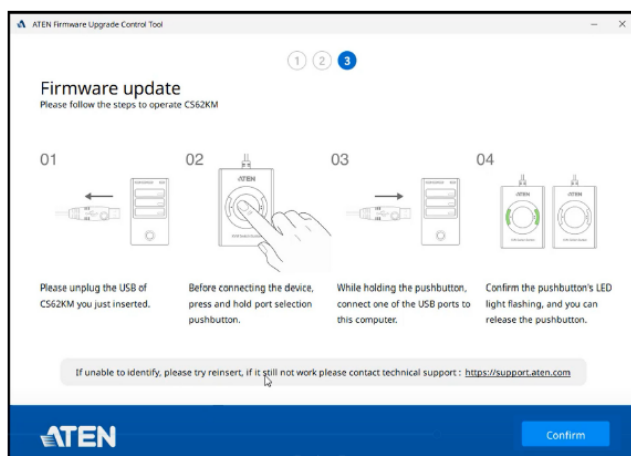
6. ファームウェアのアップグレード処理が完了するまでお待ちください。



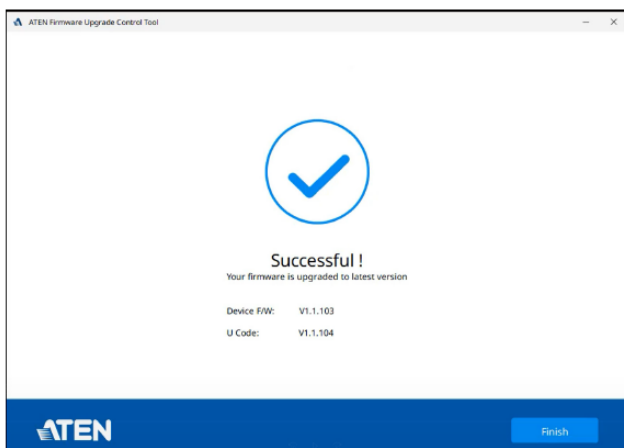
7. アップグレードが完了すると、以下の画面が表示されます。画面の指示に従い、CS62KM にファームウェアデータを読み込みます。読み込みが完了すると、「確認」ボタンが有効になります（灰色から青色に変わります）。「確認」をクリックします。

注意:

確認ボタンが灰色のままの場合は、技術サポートにお問い合わせください。



8. 「アップグレードの成功」画面が表示されたら、「完了」をクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを終了します。正常に完了すると、CS62KMIはファームウェアアップグレードモードを終了し、製品本体をリセットします。



安全にお使いいただくために

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品パッケージに同梱のすべてのドキュメントに目を通してください。また、ドキュメント類は、後で見返せるようにすべて保存してください。
- ◆ 製品本体に記載されている警告や指示に従ってください。
- ◆ 製品本体を不安定な面（カート、簡易スタンド、テーブルなど）に置かないでください。落下すると深刻な損傷が生じます。
- ◆ 製品を水の近くで使用しないでください。
- ◆ 製品は、冷却装置や加熱機器の近く、またはその上に置かないでください。
- ◆ 排熱機構のないデバイスを、組み込みエンクロージャーに置かないでください。
- ◆ 本体のお手入れの際には、あらかじめプラグを壁のコンセントから抜いてください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。お手入れには、湿らせて固く絞った布を使用してください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 電気回路が過負荷状態に陥らないようにしてください。電気機器を回路に接続する前に、電源装置の制限を把握し、これを超えないようにしてください。回路の電気仕様を常に見直して、危険な条件が生じていないか、また、すでに危険な条件がそろっていないか確認してください。電気回路の過負荷は火災や機器破損の原因となります。
- ◆ システムへの損傷を避けるために、すべてのデバイスを適切に接地することが重要です。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。電源コードやケーブルを踏んだり、これらにつまずいたりしないよう、配線してください。

- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火や感電のおそれがありますので、キャビネットの空きスロットなどにケーブルの余剰部分を押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。すべての保守については、適格な保守担当者に問い合わせてください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、製品本体をコンセントから外して技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損したり、擦り切れたりしている。
 - 本体の上に液体がこぼれた。
 - 本体が雨や水に濡れた。
 - 本体が落下した、またはキャビネットが破損している。
 - 本体の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。不適切な調整は、修理する資格のある技術者による広範な作業を必要とする損傷をもたらす可能性があります。

技術サポート

インターナショナル

- ◆ トラブルシューティング、マニュアル、およびソフトウェアアップデートを含むオンラインテクニカルサポートの場合 : <http://eservice.aten.com>
- ◆ 電話によるサポートについては、p.iiiを参照してください。

北米

メールによるサポート		support@aten-usa.com
オンライン テクニカルサポート	ドキュメント ソフトウェア更新 トラブルシューティング	http://eservice.aten.com
電話によるサポート		1-888-999-ATEN ext 4988 1-949-428-1111

お問い合わせいただく際には、あらかじめ以下の情報をご用意ください。

- ◆ 製品型番、シリアル番号、購入日
- ◆ コンピューター構成 (OS、リビジョンレベル、拡張カード、ソフトウェアを含む)
- ◆ エラー発生時に表示されるエラーメッセージ
- ◆ エラーに至るまでの操作の順序
- ◆ 他にも役立つと思われる情報

仕様

コンピューター接続数	2
ポート選択	ホットキー、マウスホイール、マウスカーソル、有線リモコン
コネクタ	
コンソールポート	USB Type-A メス×2
KVM ポート	USB Type-A オス×2
有線リモコン	2.5mm オーディオジャック メス×1
LED	
選択	2 (Green)
エミュレーション	
キーボード/マウス	USB
消費電力	DC 5V:0.74W:7.7BTU/h 注意: ◆ ワット単位の測定値は、外部負荷がない場合の装置の標準的な消費電力を示します。 ◆ BTU/h 単位での測定値は、デバイスに完全に負荷がかかった状態の消費電力を示します。
動作環境	
動作温度	0～40℃
保管温度	-20～60℃
湿度	0～80% RH、結露なきこと
本体	
ケース材料	プラスチック
重量	0.12 kg (0.26 lb)
サイズ(W×D×H)	84.5×34.0×22.1 mm

注意:

ポート切替機能は、エミュレーションモードで3キーUSBマウスホイールを使用した場合にのみ動作します。

トラブルシューティング

操作上の問題には、さまざまな原因が考えられます。トラブルシューティングにあたり、まず、すべてのケーブルがしっかりと接続され、ポートに完全に取り付けられているか確認してください。

また、製品のファームウェアをアップデートすると、過去のバージョンのリリース後に検出・修正された問題が解決する場合があります。製品本体に最新のファームウェアバージョンが適用されていない場合は、アップグレードの実行を強く推奨します。アップグレードの詳細については、p.38「ファームウェアアップグレードユーティリティ」を参照してください。

症状	考えられる原因	アクション
動作が不安定である。	マウスまたはキーボードのリセットが必要です。	コンソールポートからケーブルを外し、もう一度差し込んでください。
	コンピューターに接続されていません。	製品本体とコンピューターの間でケーブルが正しく接続されているか確認してください。
	CS62KMを再起動する必要があります。	PCとCS62KMの電源をオフにしてください。PCの電源をoffにしたらCS62KMの電源をオフになっていることを確認してください。常時USB給電するPCであれば、CS62KMをPCから外してください。5秒待ってからケーブルを接続しPCの電源をオンにしてください。
	PCのUSB給電が不足しています。	PCIにACアダプターを接続するほか、USBのセレクトティブサスペンドが有効になっている場合は無効にするなど、USB機器に給電されているかご確認ください。
USBデバイスが応答しない。	USBポートをリセットする必要があります。	デバイスのUSBケーブルをCS62KMのUSBポートから外し、もう一度差し込んでください。
		USBリセットのホットキーで、USBポートをリセットしてください(p.17参照)。

ホットキーのデフォルト設定

工場出荷時におけるホットキーのデフォルト設定は次のとおりです。

設定	デフォルト
ポート切替	[Scroll Lock] [Scroll Lock]
HSMの起動	[Num Lock] [-]
マウスエミュレーション	有効
キーボード言語のレイアウト	英語
キーボードマッピング	自動検出
マルチスクリーンコントロール(通常モード)	無効
マルチスクリーンコントロール(コンボモード)	無効
オートスキャン スキャンインターバル	5秒
電源状態検知機能	有効
電源切替キー	有効
マウスホイールによる切り替え	無効
マルチスクリーンコントロールのマウスフォーカス	無効

ATEN保証ポリシー

製品の保証内容は、製品カテゴリー・購入国・地域・販売店によって異なります。そのため、保証条件やサポート範囲を確認する際は、次の順序でご確認ください。

1. まずは、購入元（販売店または代理店）へ、購入時点の契約条件や保証期間、購入元が提供する付帯サービスなどをご確認ください。
2. ATEN の公式ウェブサイトで、購入した国／地域を選択し、該当するサポートセンターの情報と製品保証規定ページをご確認ください。購入国ごとに保証ポリシーや対応窓口が異なりますので、購入元のサービス内容と保証規定を確認してください。

さらに技術的な支援や手続きが必要な場合は、最寄りの ATEN 営業担当者またはサポート窓口へお問い合わせください。

© Copyright 2026 ATEN ®International Co., Ltd.
リリース:2025-07-24

ATENおよびATENロゴは、ATEN International Co., Ltd.の登録商標です。無断転載を禁じます。その他すべてのブランド名および商標は、それぞれの所有者の登録商標です。